

## 見どころ案内

### 展示会のご案内

◇展示資料館 1F

植物友の会作品展 (9/7~9/15)

私の好きな花たちの写真展 (9/19~10/14)

◇展示温室 (9/7~9/26)

### 薬用植物展

### 薬用植物展

薬用植物を約200点展示し、薬効について紹介しています。今年はクチナシやカンアオイに関する展示も行っています。ウコンの花など普段あまり見られないものも見る事ができます。

### ツキミノウ (アカバナ科)

メキシコ原産の植物で江戸時代にマツヨイグサ等と一緒に観賞用として導入されました。夕方から白い花を咲かせ、朝にはピンク色になり、しばむ一夜花です。適応性が弱く、野生では見られないため、野生化してよく見られるオオマツヨイグサ等がツキミノウと勘違いされていることがあります。

### ヨルガオ (ヒルガオ科)

夕顔(ユウガオ)の名前で販売されることもありますが、かんぴょうの原料であるウリ科のユウガオと同名なので、しばしば混同されています。夕方から咲きはじめ、スズメガのなかまが受粉する虫媒花です。

### チユウキンレン (バショウ科)

中国南部からインドシナ半島に自生するバナナの仲間です。中国では「地湧金蓮」と書き、地から湧いた金の蓮に見えることから名付けられました。

### カリガネソウ (シソ科)

東アジア原産の多年草。虫が花にとまる際、背中に花粉をつけ、次の花へ受粉するおもしろい仕組みになっています。紫色の清楚な花で、帆掛船に見立てて、別名は帆掛け草(ほかけそう)。

### セトウチギボウシ

(ユリ科)

山口県周防大島辺りに自生するギボウシで、葉は円形で葉の裏側が白色です。絶滅危惧種に指定されています。

### 桃色イペー

(ノウゼンカズラ科)

南米原産の落葉高木です。花弁はピンク色で、中央部が黄色です。材は大きく強度もあり、建材や家具に使われています。ブラジルの国花になっているイペーは黄花種です。

### オーストラリアバオバブ

(アオイ科)

大温室のシンボルツリー、バオバブの花が初めて咲きました。生育期に入り、枝葉が青々と茂り、つぼみもいくつかついています。今週中には開花する可能性があります。

### ハウキグサ (ヒユ科)

緑色のボールのようですが、秋が深まるにつれて赤く紅葉します。和名のハウキグサは、昔この茎を乾燥させてほうきを作ったことにちなみます。別名ハウキギ、コキアともいいます。

